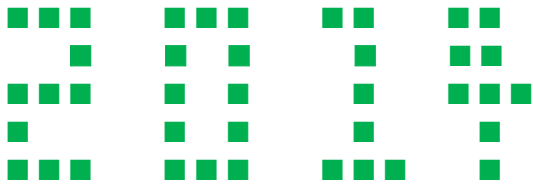


==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==



一般社団法人全日本中国人博士協会メールマガジ

ン

☆☆☆ 2014年1月1日 メルマガ第66号 ☆☆☆

謹賀新年！

祝各位会員馬年吉祥，万事如意！

=====

=

★ ご投稿・ご意見・ご要望：mailmag@casej.jp まで

~~~~~

### 本期内容

-----

★編集者語 ----- 陶惠栄

■新年賀詞 ----- 会長理事会一同

#### ■協会動態

・2013年年度活動報告 ----- 事務局

・2014年年度博士協会活動及運営計画 ----- 事務局

・2013年年度会員状況報告 ----- 事務局

・2013年年度財務状況報告 ----- 事務局

・2013年年度博士協会忘年会報告 ----- 事務局

・「深圳市与筑波海外英才联谊会」参加報告 ----- 滕劲兵

・「2013百名海外博士重慶行」参加報告 ----- 李 磊

#### ■会員の本の紹介

・「森林医学」の紹介 ----- 李 卿

#### ■その他

・会員状況 ----- 事務局

・投稿案内 ----- メルマガ編集部

・メルマガ編集委員募集 ----- メルマガ編集部

=====

### ★ 編集者語

新年編集者からの一言

編集副部長 陶惠栄

2013年は日本にとって特別な年です。日本の歴史を見れば、少しでも分かっていただくでしょう。今年には60年に一回の出雲大社遷宮と20年に一回の伊勢神宮遷宮が重なった年です。20年に一回の伊勢神宮遷宮は1300年もの伝統を持っています。出雲大社の遷宮は、20年ごとに式年遷宮を繰り返す伊勢神宮と違い、随破遷宮といって損傷が進んだ時に行うため、60年に一度というきわめて流動的なもので、歴史上で二つの遷宮が重なったのは四回しかないそうです。1609年（豊臣時代開始）、1809年（幕末時代開始）、1953年（連合軍と日本国との平和条約が締結され発効する翌年、第二次世界大戦戦争終了）、四回目は2013年でした。日本がこれから何か大きな変化が来るかどうか、この2-3年で見えてくるでしょう。

中国では、2013年政治面では、全国人民代表大会（全人代）で習近平党総書記を国家主席、李克強を国务院総理に、李克強内閣が発足しました。経済面では、中国は世界で二位に躍進

し、これから使命と義務も大きく期待されます。先進技術から、有人宇宙飛行、無人月探検機嫦娥3号が月に着陸成功させるなど、明るいニュースと同時に、環境面は大変な課題が残されました。

躍動と変化する歴史の一証人として全日本中国人博士協会の皆さんは、どんな気持ちでしょうか、

変化の年に一番相応しいことは、自分の身の回りの事を整理し、すがすがしい気持ちで新たな変化を迎えることです。整理といえば一番簡単なことは不要な「物を捨てる」ことです。リサイクルできる物は再利用し、処分できる物は感謝の意を込めて持ち出し、身の回りを綺麗にすることだと思います。二番目は「心を捨てる」ことです。わがまま、不自然さの心を捨てましょう。難しいと思いますが、挑戦してみてください。最も難しい整理とは「命を捨てる」ことです。大義を成しとげるため、決死の覚悟が必要です。

新たな2014年を迎え、斬新の気持ちと心の備えで、これからの中日友好、人類の前進、明るい明日を万進しましょう。

メルマガの発行について、昨年と同様隔月で発行いたします。皆様のご投稿を待ちしております。メルマガに対してご意見・ご要望があれば、ぜひともご連絡いただき、今後の編集に生かしたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

では、新年あけまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。と編集委員一同、心より御礼を申し上げます。

=====

## ■2014年新年贺词

### 2014年新年贺词

尊敬的各位会员朋友们大家好！

新年的钟声已经敲响，在忙碌的耕耘中我们不知不觉送走了2013，迎来了崭新的2014年。在此我谨代表第11期理事会全体成员向所有长期以来关心、支持理事会工作的会员朋友们及社会各界朋友们致以诚挚的感谢和衷心的问候！

过去的一年是我们博士协会努力奋进的一年，我们先后举办各类会员亲睦和服务架桥活动10余次，为促进日中民间友好交流和在日博士间的各种交流作出了应有贡献。2013年11月1日-4日我们成功举办了“留日博士盐城行”的大型中国地区性考察活动，并以此为契机，参加回国考察的各界博士与江苏省盐城市签约了近30个合作项目。在2013年，我们并成功的举办了博士协会2013年年会，11位博士发表介绍了自己的领域的最新成果。我们还成功举办了有博士协会会员以及社会各界代表共90余人参加的博士协会2013年辞旧迎新新年晚会，春天赏樱会，森林浴等活动，增进了我们广大新老会员之间的友好情谊。

2013年，博士协会经过17年风雨与共地不懈努力会员总数突破了500名大关，这是从第1期理事会到今天第11期理事会的理事成员们的努力和广大会员的长期不离不弃的支持是分不开的。感谢所有的曾经或者正在为协会努力的朋友们！

新的一年我们将继续承前启后，公开公平，和谐上进的和广大会员一起来创造良好的氛围和大家共同的精神家园。

我们将在继承和发扬博协优良传统及进一步贯彻协会宗旨“务实，创造，架桥，贡献”，公开公平运营博士协会，极力让会员们都可了解和参与到协会运营，协会是大家的是每一位会员

的。

新的一年，我们 500 名会员相互理解，相互帮助，同舟共济，和协会共同成长共同发展。让博士协会成我们大家共同的家园。祝愿大家在新的一年里都能实现自己的理想和目标！

最后祝各位会员朋友在新的一年里

身体健康，阖家幸福。  
事业顺利，马到成功！

全日本中国人博士協會第11期 會長滕勁兵及全体理事会成员

=====

■協會動態

事務局

全日本中国人博士协会 2013 年年度活動報告

- (1) 2012 年 12 月 10 日 忘年会會員交流懇親会
- (2) 2013 年 2 月 28 日-3 月 1 日：组团访问沈阳远大
- (3) 2013 年 3 月 29 日：天津网上人才交流会东京分会场。
- (4) 2013 年 3 月 29 日：花見、會員交流懇親会（場所：上野恩賜公園内）
- (5) 2013 年 6 月 8 日：森林浴---高尾山
- (6) 2013 年 6 月 29 日餃子パーティー：横浜
- (7) 2013 年 8 月 10 日：塩城留日高級人材座談会/東京
- (8) 2013 年 11 月 1 日～3 日主办留日博士盐城行
- (9) 2013 年 11 月 3 日主办博士协会 2013 年会暨创新驱动发展研讨会  
（発表者 11 名、医療・情報・農業・環境・生物などの分野）
- (10) 2013 年 11 月 4 日对镇江进行访问考察
- (11) 2013 年 11 月 6-8 日组团参加深圳国际人才交流大会
- (12) 2013 年 12 月 12-14 组团参加百名海外博士重庆行
- (13) 2013 年 12 月 14 日组团参加深圳-筑波科技人才交流会
- (14) 2013 年 12 月 21 日：博士协会 2013 年度忘年会（新年晚会）

~~~~~

■協會動態

事務局

2014 年年度博士協會活動及運營計畫

(1) 来年活動計畫：

定例活動：

- 2 月份春节联欢（包饺子）
- 4 月份赏櫻
- 8 月份中秋会
- 12 月份忘年会
- 年会（2-3 年一次）

非定例亲睦活動：

森林浴，温泉旅行

非定例活動：

座談会、訪問等

次回定例活動：

2月1日春节联欢(包饺子)

- (2) 来年メルマガ発行
今年全部発行 7 期
来年継続 2 か月 1 期

- (3) 来年網站運營

博士協會網站原来有下面两个链接都可以直接访问。

<http://www.casej.jp/newpage.index>

<http://www.casej.jp>

今年把两个链接一体化,改成了只有一个可以访问 www.casej.jp

来年为了信息更集中,更新更迅速及时,会进一步一体化,只更新日文版。

~~~~~

■協會動態

事務局

全日本中国人博士協會 2013 年年度會員狀況報告

前届の會員總数： 4 7 8 名  
今年新入會員人数： 2 3 名  
今年現時点會員總数： 5 0 1 名

博士協會事務局  
2013 年 12 月 30 日

~~~~~

■協會動態

事務局

全日本中国人博士協會 2013 年年度財務報告決算
2013 年 12 月 29 日

前届の繰上げ金： 5 4 1、7 3 1 円
今年の収入部分： 2 0 5、9 6 3 円
今年の支払い部分： 1 4 8、6 7 2 円
現在残高： 5 9 9、0 2 2 円 (前期より+57、291円)

上述 2013 年度財務報告在 2013 年 12 月 21 日 2:00-4:00 在東京大排档举行的現場理監事会里全数通过。参加現場理監事会的有理事 7 位, 监事 1 位, 委托投票理事有 10 位。未赶上理事会稍后赶到的理事有 1 位。

~~~~~

■協會動態

2013 年度忘年会報告

事務局

2013 年 12 月 21 日晚,全日本中国人博士协会举行辞旧迎新的新年晚会活动,博士协会会员及来自各界的代表 90 余人参加了晚会。

对这次活动得到了深圳市驻日本经济贸易代表事务所和日中电影协会的支持。应邀出席本次活动的嘉宾还有:全日本华人华侨联合会会长顏安、新华社驻日本特派员藍建中、日中新闻

社副社长李健，在日中国媒体特约记者严肃，日中电影协会陈理事长以及在日多所中国高校校友会会长们和各界代表等。



首先由全日本中国人博士协会滕劲兵会长向大家汇报了博士协会本年度所做出的成绩，先后举办各类会员亲睦和服务架桥活动 10 余次，如春天赏樱会，沈阳远大集团的访问，高尾山森林浴，东京盐城座谈会等，为促进日中民间友好交流和在日博士间的交流作出了贡献。他特别介绍了博士协会今年 11 月 1 日~4 日成功举办的“留日博士盐城行”的大型中国地区性考察活动，与此为契机，参加回国考察的各行业博士与江苏省盐城市科学技术合作，签约了近 30 个合作项目。博士协会成员也从 1996 年成立时的 100 多名会员到今年突破 500 名，这些都是协会感到光荣和值得骄傲的成绩。他向对协会给与支持和赞助的各界人士表示由衷的感谢，并祝愿协会会员和参加晚会的全体人员新年快乐，协会将以更加优异的成绩和大家一起迎接更加美好的 2014 年。

深圳市驻日本经济贸易代表事务所于智荣首席代表在致辞中表示：在日中国人博士协会会员人才济济，一直为在日奋斗着的各界人才创造了一个发挥能力和相互交流的亲睦服务架桥的宗旨而努力，是在日华人的重要平台，已经成为一个学术交流的基地。深圳市 30 多年来取得了巨大成就，使之对各种人才需求量也在不断增加，可以说是一座能够让大家实现梦想的城市。他还表示“深圳市驻日本海外高层次人才联络处”也会为大家提供合作信息和机会，他期望博士协会也组织人才团队到深圳考察、见学，开展各种合作。

博士协会会员张伟和刘景东分别表演了精彩的笛子独奏《祖国一片新面貌》和二胡独奏《真的好想你》。在日华人歌手铉律、杨索、侯伊祁、刘一等用热情洋溢的歌声表达了辞旧迎新的欢乐心情。

旅日华人曹小冬充分发挥了艺术表演才能，拉响手风琴边奏边唱，还为大家的合唱激情伴奏；毕业于北京舞蹈学院的民族舞蹈演员山冈千樱，先表演了一曲中国喜庆节日时传统的手绢舞，在大家“再来一个”的呼声中，又和曹小冬即兴合作，共同表演了富有中国少数民族特色的新疆舞和蒙古舞。晚会的高潮是最后全体参加者同声高唱一曲《明天会更好》，在欢乐、愉快的歌声中，晚会落下了帷幕。

全日本中国人博士协会（注：成立于 1996 年 7 月）是由在日本各大学大学院获得博士学位、在日本的教育机关、研究机关、企业中从事教育、学术研究、技术开发、企业经营等的中国

人博士、从日本回中国以及到欧美等国工作的博士专家所构成。

~~~~~

■ 協会動態

滕劲兵

「深圳市与筑波海外英才联谊会」参加報告

12月14日、本会会员滕劲兵、薛雁群、准会员袁梦飞、郝磊四人代表全日本中国人博士协会出席了[深圳市与筑波海外英才联谊会]。

联谊会由深圳市驻日本经济贸易代表事务所、深圳市驻日本海外高层次人才联络处主办，筑波竹园互助会，全日本中国人博士协会以及筑波各大研究机构的中国籍科研人员等近100人出席。滕劲兵会长做了即席发言。

深圳市驻日本经济贸易代表事务所首席代表于智荣说，深圳是一个创新驱动的城市，拥有强大的研发创新能力、良好的产业配套环境。深圳在2011年推出吸引海外高层次人才的“孔雀计划”，希望海外科研人员能够回国积极参与。

相关报道见新华网：http://japan.xinhuanet.com/jpnews/2013-12/15/c_132968646.htm

~~~~~

■ 協会動態

「2013百名海外博士重慶行」参加報告

李 磊（法政大学）

重慶市委組織部、重慶市人力資源社会保障局、重慶市国有資産監督管理委員会および重慶市科学技術協会の共催により、「2013百名海外博士重慶行」活動は2013年12月11日～14日の4日間の日程にて重慶市で行われた。私は同じ時期に開催される韓国済州島での国際会議に招待され、重慶行活動に参加予定はなかったのだが、重慶市政府人材弁公室の知人周雲強処長からの要請で、急遽参加することにした。私にとって初めての「重慶行」であり、中国西部における唯一の中央直轄都市としての「引智引才」の政策を学習するよい機会でもあり、重慶行に参加することにした。側面的な印象で「流水帳」になるかも知れないが、博士協会事務局から参加報告執筆の依頼を受けたので、皆様に簡単なご報告をさせていただき次第である。

私は12月11日の早朝、東京羽田空港から出発し、北京で重慶行きの便を乗り換え、午後4時30分ごろ重慶国際空港に到着した。周処長らは空港まで出迎えてくださって、重慶市科学技術協会の入ったホテル「两江麗景酒店」のフロントで活動受付、チェックインの手続きをしてから、夕方に重慶市政府人材弁及び外事・華僑弁の知人らと夕食をともにした。「山城」ともいわれる立体構造に置かれる重慶の夜景はその迫力、その秘められたパワーがその場にはないと想像できないであろう。两江（長江と嘉陵江）の合流した岸辺に建てられた観光地のようなレストランで「重慶火鍋」を食べながら、友人らとご無沙汰に歓談した。話題は重慶市政府代表団の日本訪問時の思い出、重慶市の発展状況及び人材政策、重慶市民の生活環境、中日関係、在日中国人の生活環境などに及んだ。

12月12日の朝食後、100数名の海外博士たちはホテルから貸し切りバスで中国科学院重慶綠色智能技術研究院に移動し、「百名海外博士重慶行」開会式、同「推介会・初歩交流会」を出席した。重慶市副市長の挨拶の他、两江新区管理委員会、北部新区管理委員会、重慶大学、重慶市科学技術研究院、重慶水務資産経営会社、重慶高速道路集团公司、中国科学院重慶綠色智能技術研究院等の責任者からそれぞれ当該部門の概況説明があった。その後、すぐ海外博士たちと分野対応の部署との初歩交流を個別で開始した。類似な活動でよく見られる海外社団代表・海外博士帰国創業代表らの発言は一切なく、すぐ個別交流に入る重慶特色の高い効率に感心した。ただ、個別交流の会場を充分準備しておらず、混乱の様子

も見えた。私は重慶市人材弁の紹介で、重慶科技学院の人事部や電気情報工学院の責任者と交流し、共に昼食した後、そのまま、彼らの車で同学院に伺った。同学院は二つの中国部属の高等専門学校から再編され、2004年に設立された重慶市所轄の4年制大学である。石油や金属材料等は伝統の重点学科のようで、博士号授与権の申請は目標としており、まだ若い大学である。電気情報工学院のPeng Jun 院長、唐副院長からご案内し、同院の学生実験装置を見学した。国内の大学は非常に広い実験教室で、実験設備を固定に設置され、装置自体も大きく作られている。日本の大学の実験装置はコンパクトで、棚に置かれて、実験時のみ取りだしテーブルにセットするのと対照的だった。日本の資源に対する工夫をここでも感じた。12日の夕方は両江麗景ホテルのレストランで歓迎レセプションが行われた。欧米の知名大学博士課程学生またはポストクの求職目的での参加者が多いような気がした。日本から15名の参加者がいた。半数以上は博士協会関係者だと思う。

翌日の13日に、引き続き重慶行参加者と重慶市関係部門との個別交流が実施された。私はやはり重慶市人材弁の提案で重慶大学への見学交流を希望した。重慶大学は中国西南部有数の国家重点大学で、よく聞かれる211大学や985大学の一つで、総合大学として知名度も高い。10数名の海外博士たちと一緒に、まず重慶大学の関係学院の責任者との座談会に参加し、専門分野から更に個別でそれぞれの学院に行き交流することになった。私は同計算機学院朱慶生教授の研究室に訪れた。朱教授は同学院党委書記で中国計算機学会理事にも務めている方で、とても親切で接して下さった。最近の10年間で、千人計画などの人材政策で、重慶大学のような重点大学は海外から優秀な人材を非常に多く受け入れたと感じた。同計算機学院院長もアメリカの大学（台湾出身）から招聘されたと伺った。重慶大学との交流を終えた後、13日の午後、人材弁の友人らの御案内で重慶市の観光名所「磁器口」という埠頭を見学した。私にとって、映画でしか見られない風景に魅せられた。「重慶火鍋」もこの埠頭の労働者たちの食事から進化されたものと紹介された。13日の夕食は会議主催者の招待で重慶市内のレストランで本格の「重慶火鍋」を再び味わった。

14日は会議日程すべて終了し、周処長らのご親切で空港まで見送っていただき、北京を経由し夜遅く東京に戻った。翌日の日曜日も本学の留学生入試関連の業務があつて、休めなかったのも、やや疲れも感じたが、実りのある充実の「重慶行」だった。

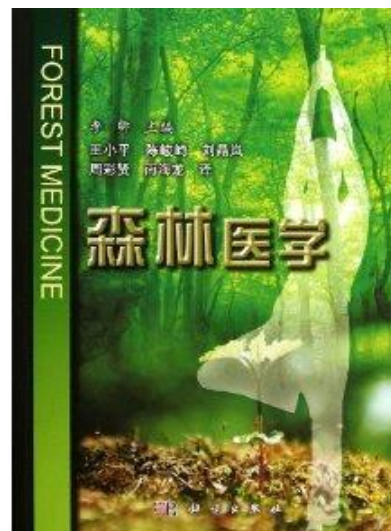
=====

#### ■会員の本の紹介

李卿

「Forest Medicine」の中国語翻訳版「森林医学」が中国で出版されました。中国の科学出版社（北京）は2013年10月に森林医学研究会代表世話人、日本医科大学准教授李卿博士が編集した英文版「Forest Medicine」の中国語翻訳版「森林医学」を出版しました。李卿博士が編集した「Forest Medicine」英文版は2012年2月にアメリカの出版会社 Nova Science Publishers (NY)から出版されました。

北京市園林緑化局の王小平処長、陳峻崎さん、劉晶嵐さん、周彩賢さん及び南海龍さん5人の森林学研究者がこの英文版「Forest Medicine」を中国語に翻訳して科学出版社から出版されました。



## Forest Medicine (English edition)

## Forest Medicine (Chinese edition)

### Hardcover

[https://www.novapublishers.com/catalog/product\\_info.php?products\\_id=28136](https://www.novapublishers.com/catalog/product_info.php?products_id=28136)

### Softcover

[https://www.novapublishers.com/catalog/product\\_info.php?products\\_id=40566&osCsid=16f99b2a677dc0d4a5b621c456da46fe](https://www.novapublishers.com/catalog/product_info.php?products_id=40566&osCsid=16f99b2a677dc0d4a5b621c456da46fe)

### ebook

[https://www.novapublishers.com/catalog/product\\_info.php?products\\_id=28205](https://www.novapublishers.com/catalog/product_info.php?products_id=28205)

### 中国版

<http://www.bookdao.com/book/1971989/>

本書は森林医学分野における最初・最新の著書で、六つのセクションに分かれて 22 章から構成されています。

#### Section 1. Introduction

(セクション 1 序論)

#### Section 2. Evaluations of the forest environment

(セクション 2 森林環境の評価)

#### Section 3. Effects of the forest environment on human health

(セクション 3 森林環境の健康影響)

#### Section 4. Effects of factors in the forest environment on human health

(セクション 4 健康影響における森林環境要因)

#### Section 5. Green areas and human health: epidemiological studies

(セクション 5 グリーンエリアと健康：疫学研究)

#### Section 6. Research into forests and human health- recent trends worldwide

(セクション 6 森林と健康に関する研究の世界的動向)

以下のサイトから中国版「森林医学」の詳細情報が得られます。

<http://www.bookdao.com/book/1971989/>

また 2013 年 12 月 4 日に北京市園林緑化局が日本から千葉大学の宮崎良文教授、森林総合研究所の香川隆英室長及び日本医科大学の李卿准教授を招聘して森林セラピー講演会を開催しました。この講演会は出版記念講演会をも兼ねています。講演会の内容は以下の通りです。

1. 日本における森林医学と森林セラピー研究の概要 (李卿)
2. 森林セラピーの予防医学的効果と森林セラピー基地認定について (宮崎良文)
3. 森林セラピー基地を成功に導くために (香川隆英)

北京市園林緑化局各部門、森林公園、自然保護区、植物園、各区・県園林緑化局などから 101 名の担当者が講演会に参加しました。参加者は熱心に講演会を聞き、質疑応答時間では参加者から沢山の興味深い質問が飛び出て講演会を盛り上げました。

なお 2013 年 12 月 24 日に杭州市が李卿准教授を招聘して森林セラピー講演会を開催しました。

さらに 2013 年 12 月 24 日～25 日ハーバード大学が李卿准教授を招聘してハーバード大学



公衆衛生学院で森林医学シンポジウムを開催しました。  
<http://www.radcliffe.harvard.edu/exploratory-seminars/urban-forest-bathing>  
今は日本で発祥した森林医学研究が世界中に広がっています。

投稿募集

協会のメルマガが隔月1期を発行しています。会員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからのご投稿をお待ちしております。

連絡先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

メルマガ編集部の募集

メルマガは我が協会内の情報誌で、全ての会員のご参与を期待しております。メルマガは隔月一回発行し、今のところは4人の編集者が分担して編集・校正を行い、作業自体はそれほど複雑ではないです。我が協会を活性化させるため、有志の方にはぜひご応募頂ければ、と思います。一緒に博士協会を盛り上げましょう！ご応募をお待ちしております。

応募先：メルマガ編集部 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

事務局からのお願い

転職や就職などでメールアドレスの変更が発生した場合には、ぜひ事務局あて ([office@casej.jp](mailto:office@casej.jp))にご一報ください。

本期編集担当：陶恵栄

校正：事務局

配 信 元：全日本中国人博士協会事務局 [office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)

<http://www.casej.jp>

Copyright (c) 2013 全日本中国人博士協会 All rights reserved.

メルマガ編集部

部長

康喜軍 (編集担当)

副部長

陶恵栄 (編集担当)

郭 陽 (編集担当)

孫蓮花 (編集担当)

事務局 (校正・発行担当)